

4月 今月のお知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、事業を変更する場合があります。ご了承ください。

さわやかサロン

日時：4月6日(木) 13時30分～
内容：ごきぶり団子づくり
材料費：100円(当日集めます)
害虫を駆除して快適な生活を！

みんなの楽級

日時：4月16日(日) 10時00分～
内容：開級式&簡単パンづくり
持ち物：エプロン、三角巾、マスク
「美味しいパンを、簡単に作ってみませんか？」

ペン習字(いきいき)教室

日時：4月17日(月) 13時30分～
内容：「絵手紙」「実用的な書」など
準備：筆ペン
～いつでも、どこでも、誰でも、楽しめること。～

退職のごあいさつ

私ごとではありますが、この度、3月31日をもって、さわやか人権文化センターを退職いたしました。短い期間でしたが、地域とのつながりを大切にしてきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。 山松 貢

事業は、感染症対策を充分行ったうえで開催いたします。

みんなの楽級の閉級式を行いました。

2021年度より新たにスタートした「みんなの楽級」。コロナ禍の続くなか制約はありましたが、感染予防の対策をとりながら様々な教室を行うことができました。3月10日に行われた2022年度の閉級式では、皆様よりいろいろなご意見を頂きました。



閉級式で出された意見 (抜粋)

- 平日の昼間だと仕事で参加できないが、日曜日に開催された教室に参加できて良かった。
- コロナ感染予防のため3年間、料理教室などがあまりできていないが、食に関する活動をぜひ取り入れて欲しい。
- 若い世代の方たちや男性にも参加していただけるような内容の事業をして欲しい。
- 年に一度は、音楽鑑賞会などの文化的活動をして欲しい。
- 2023(令和5)年度に行ってみたいこと。
⇒食事やおやつをつくる料理教室や、栄養などについて学びながら食生活に生かせる料理教室などをして欲しい。
⇒作品づくり(木工作品、竹細工などの作品づくり、手縫いでできる飾りづくりなど、様々な作品を作って見たい。)
⇒人権学習は今の時代に起こっている人権課題について、幅広く学習していきたい。

さわやか人権文化センターだより

さわやか

2023年4月1日発行 No.342
【発行所】さわやか人権文化センター
【所在地】〒682-0602 倉吉市上米積 1074-1
【電話兼ファックス】0858-28-2017
【メールアドレス】sawayaka@ncn-k.net

センターだより「さわやか」に関するご意見・ご要望をお寄せください。

相談

啓発

交流

お気軽に さわやか人権文化センターへ お越しください

人権文化センターでは、地域に開かれたコミュニティセンターとして、様々な事業を行います。

どうぞお気軽にさわやか人権文化センターへお立ち寄りください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

さわやか人権文化センター 職員一同



今年度の主な事業予定

毎月開催

○さわやかサロン・・・毎月1回

生きがいづくりと閉じこもり防止を目的として開催しています。おしゃべりを楽しみながら簡単な作品づくりをしたり、簡単な体操で体を動かし、健康で助け合いながら暮らしていけるまちづくりを目指しています。

○ペン習字教室・・・毎月、第3月曜日

絵手紙や日常に役立つ「書」を学びます。楽しみながら作品づくりに取り組むことで、表現し、互いに思いを伝えることを喜び合い、学びます。

○みんなの楽級・・・4月～翌年3月(毎月1回程度)

人権学習や作品づくりなどとおして、地域の皆様と活発に交流します。女性も男性も、そして若い人も、皆様の参加お待ちしております。

(内容：視察研修、各種教室、人権学習)

○手話教室

5月より開催予定、年6回

○ゆとり教室

年4回開催予定 5・7・9・11月

○高城・北谷保育園との交流

7月、11月 予定

地域住民と高城・北谷保育園の園児がふれあい、交流します。

○小・中学生育成 リーダー研修(仮称)

夏休み期間中に現地研修などの人権学習をおして学び、交流します。

○第40回高齢者教室

10月28日(土) 淀江 浄福寺

○第26回さわやか人権フェスティバル

12月1日(金)～5日(火) 予定

○解放子ども会リーダー研修 3月予定

○その他にも、地域成人講座や高校生育成講座等を計画していきます。

※新型コロナウイルスの感染状況により開催できない場合もあります。

ご存知ですか？

4月2日の「世界自閉症啓発デー」から、4月8日までの1週間は

発達障害啓発週間



国連総会（H19. 12. 18 開催）において、カタル王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

「発達障害」とは？

発達障害は、生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。そのため、養育者が育児の悩みを抱えたり、子どもが生きづらさを感じたりすることもあります。

発達障害があっても、本人や家族・周囲の人が特性に応じた日常生活や学校・職場での過ごし方を工夫することで持っている力を活かしやすくなったり、日常生活の困難を軽減させたりすることができます。（厚生労働省ホームページより）

発達障害には、「自閉スペクトラム症」・「注意欠如・多動症（ADHD）」・「学習症（学習障害）」・チック症・吃音などがありますが、人によって、その特徴は大きく違います。

※例えば、こんな特徴のある人がいます。



順番が待てないなど、ルールが分からない。



言葉の意味が分からない、ひとり言やオウム返し、話がかみ合わない。



物や形、場所、順番など、物事に強いこだわりがある。



予測できない事や、急な変更が苦手。



手をひらひらさせたり身体をゆすったりする。

※その他にも、「人間関係がうまく築けない」、「冗談や暗黙の了解などが理解できず、場にそぐわない言動がある」などの特徴もあり、一人ひとりがさまざまな困難を抱えながら生活しています。

こころを助けてあげます。「発達障害」のある方との関わり方

- ①その人の発達に合わせてわかりやすく説明しましょう。
例えば、その人が言葉だけでは理解できない場合は、写真、絵などを添えてみてください。
- ②発達障害の人たちの中には過敏で、人混みや大きな音、光といった刺激を苦手とする人が沢山います。このような刺激による不快感を増幅させないように調整して安心できる環境をみんなで作っていきましょう。
- ③「できないから」、「間違っていたから」といって叱ることは、その人の将来に影響を及ぼすことにもなりますので、できるだけ穏やかに根気よく接して良い関係を作りましょう。

支援のはじまりは理解から

大事なことは、発達障害のある、なしに関わらず、その人がどんなことができ、どんな魅力があるのかといった“その人”に目を向けることです。そして、その人の特性に合った支援を見つけていくことが大切です。

本人にあった適切な関わりや環境調整があれば、社会の中で豊かな才能を発揮することができます。

